

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和4年度

市町村名	横瀬町					
提案事業名	寺坂棚田魅力アップ事業					
事業期間	令和2年度 ~ 令和2年度					
成果指標	(成果を検証する指標) ウォーキングイベント参加人数					
	(成果検証の具体的な方法) ウォーキングイベントの参加者を町内外問わず幅広く募り、その参加人数を集計する。					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	A B C
	従前値 (R2年4月時点)	0人	目標値 (R3年3月時点)	250人	実績値 (R3年3月時点)	B (164人)
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)		稼働率 (%)	(目標) (実績)	
住民への公表状況 及び特記事項		町の広報紙において、その来場者数を公表する。				

【事業効果の整理・原因分析】

令和2年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 寺坂棚田遊歩道整備事業	△	寺坂棚田の遊歩道をより歩きやすく整備することで、寺坂棚田を訪れるの満足度向上に寄与することができたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、想定していた来訪者数には満たなかった。
② 寺坂棚田ウォーキングイベント開催事業	×	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当初想定していたウォーキングイベントの実施をすることができなかった。
③	○ △ ×	
④	○ △ ×	

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	より快適で歩きやすい遊歩道を整備することで、寺坂棚田の景観向上と来訪者の満足度向上に寄与することができた。また、遊歩道が明確化されたことにより、作業用の畔などへの観光客の進入を防止することで、寺坂棚田の耕作者にとっても有益な効果をもたらした。
実施事業について 成果が不十分である点	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベントの実施ができなかったことや、そもそもの来訪者の減少が大きく響き、本事業のPRをうまく行うことが適わなかった。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	Withコロナにおいても実施できるウォーキングイベントの検討・実施や、イベントの開催が適わなくとも寺坂棚田をPRできる取り組み(チラシの作成など)を行っていく。